

第21期 令和3年度 活動報告

1. 市民協働の支援事業

(1)協働のまちづくり支援(専門家派遣・自主) ※継続

一各地域からの要請に基づいて、協働のまちづくりを進めるための人材育成等の関する相談を受けるとともに講座等の講師を派遣した。掛川市の協働のまちづくりに関する地区集会(地区住民と市幹部との対話集会)のファシリテーターとして代表理事が関わった。
ただし、地区集会はコロナの影響で全地区中止、市全体で1回開催した。

(2)三遠南信住民ネットワーク協議会の運営支援(自主事業) ※継続

一住民ネットワーク協議会の代表世話人として世話人会を開催する。(3回程度)
一今年度の三遠南信サミット2021in東三河に関する住民セッションの企画・運営に協力した。
一新型コロナウイルス感染拡大防止のため、住民セッションは事前収録し、2021年10月18日オンラインによる事前収録、11月4日三遠南信サミットはオンライン開催となり、YouTubeでの配信となった。

2. 環境保全の支援事業

(1)はまなこ環境ネットワーク関連業務 ※継続

①浜名湖環境保全団体情報発信・交流会開催の支援(委託・継続)

一静岡県くらし環境部自然保護課から「はまなこ環境ネットワーク」の活動に関する業務委託の作業(一部)を行った。

○浜名湖環境保全団体の活動の取材、広報誌発行やWEBやSNSでの情報発信
・広報誌第36号(300部発行) A3両面カラー・2ツ折



・広報誌第37号(300部発行) A3両面カラー・2ツ折



○活動団体交流会の企画・運営

日 時：令和4年1月15日（土）13：30～16：30

場 所：舞阪協働センター 2階講座室1

参加者：19名（静岡県・事務局含む）

内 容：講 演 「SDGsによる浜名湖の環境活動」

講師：浜松いわた信用金庫 SDGs推進部 副部長 竹内嘉邦氏

リレートーク

1) 情報提供（静岡県くらし・環境部 自然保護課）

2) 活動紹介（各団体から）

意見交換会「SDGsを取り入れた浜名湖の環境保全活動」



②はまなこ環境ネットワーク事務局(自主)※継続

- －浜名湖の環境保全・活用に取り組む市民団体、NPO、企業、各種団体、行政によるネットワーク組織（平成17年3月発足）の事務局を継続して担った。
- －WEBサイトやSNSの管理運営、情報発信
- －団体や外部からの浜名湖の環境及び活動に関する相談・助言
- －団体情報の管理、総会の開催 など

(2)海と日本プロジェクト「キッズサマースクールin浜名湖」(委託)※新規

- －日本財団の「海と日本プロジェクト」として小学校5～6年生を対象に1泊2日の「キッズサマースクール」しずおか東西対決「マグロ」と「うなぎ」どっちがすごい！？が行われ、その第2弾として「浜名湖・うなぎ探究隊」の中プログラムで生きもの探検・海洋プラスチックごみ学習に対して、これまでのノウハウを活かして運営を担う。
- －テレビ静岡の番組企画で、SBSプロモーションからの依頼により実施した。

○実施日 8月4日（水）9:30～12:00

○場 所 弁天島海浜公園、人工島（いかり瀬）

○参加者 静岡県内の小学校5～6年生20名、日本財団及びテレビ静岡のスタッフほか

○内 容 海洋プラスチックごみを学ぶ

浜名湖湖上遊覧、いかり瀬での生きもの観察会



(3) 浜名湖海洋プラスチックごみ体験学習会(委託)※継続

- 海洋プラスチックゴミ問題の啓発を目的として、昨年度に引きつづき「浜名湖の水をきれいにする会」主催により親子で調べて、学んで、考えるための体験型学習会を企画・実施した。
- 湖上で浜名湖の養殖や干潟での生きもの観察を行い、今年度は3密を回避するため、屋外での活動を中心に開催した。

○実施日 10月16日(土) 9:00~12:00

○場所 新居弁天海水浴場及び海湖館
表浜名湖

○内容 ごみを拾って、プラスチックごみを調べる
湖上遊覧(今切の渡しルート、カキ養殖場所の見学)
干潟で生きもの観察会

○参加者: 総数48名 38名16家族(一般) 子ども19名、大人19名

7名(湖西市長、浜水会事務局)、3名(運営スタッフ)

※浜名湖の水をきれいにする会は、浜松市、湖西市及び沿岸の漁業団体、観光団体などで構成される組織で、両市の環境部局が交互に事務局を担っている)



3. 地域文化の伝承・景観形成の支援事業

(1) 清水次郎長生家の管理運營業務（委託・一部自主事業） ※継続

- －平成30年より引き続き静岡市(所管文化財課)からの委託業務として運営した。
- －昨年度と同様4人のスタッフで運営した。今年度は8月20日から9月30日まで緊急事態宣言が出され、1月27日から3月21日までまん延防止等重点措置が出された年であった。来館者数は昨年度の5,854人よりも改善し、6,823人であった。
- －毎月のイベントは、次郎長の社会貢献事業のPRや江戸時代の風情が分かる展示、また、次郎長を知っている世代の高齢化がしてくることから、若い世代が生家を訪れる仕掛けを企画した。
 - ①次郎長パンフレットの提供
 - ②次郎長生家周辺のマップ等の提供
 - ③しってね！清水の次郎長。次郎長さんの功績紹介展示
 - ④「粋な大人の次郎長生家」の芸術プログラムの実施(8月怪談中止、10月11月は実施)
 - ⑤東海道および二峠六宿の情報提供



(2) 小山町 文化遺産を活かした巡拝の道づくり地域活性化事業(補助) ※継続

- －小山町須走まちづくり推進協議会が採択された文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」では、富士浅間神社を中心に「巡拝の道づくり」と現代版の富士講の“行”が体験できる環境やシステムの構築、御師の地区づくりを行う最終年度であった。

① 人材育成事業

- －委員会の実施、人材養成講座(6回)
- －御師マニュアルの作成(21名の須走御師の認定)

③ 普及・啓発事業

- －夏越大祓い・お山開とお山仕舞い
- 富士山ウォークの開催(災害のため内容変更)

③ 情報発信事業

- －委員会の実施、映像の作成(1点)、写真撮影



(3) 国道138号景観形成等整理業務(プロボ・委託)※継続

- ー富士山の山麓を走る国道138号において、住民・事業者・行政等が協働で道路景観の向上を図る活動や体制をつくる事業である。
- ーワークショップ会議は、御殿場地区では2回、小山町須走地区では3回実施した。
- ー現場で道路景観形成の具体的な活動を実施する。

<小山町須走地区>

- ・オリンピック前の7月11日に神社周辺の自転車コースの美化活動を行った。

<御殿場市>

- ・6月に東山、鮎沢地区、11月には萩原地区を実施する分散型の活動を行った。
- ・景観向上の主体的な活動の指針となるとなる富士山ビューロード計画を策定した。

国道138号御殿場・小山町景観形成WS



道路協力団体の指定状況(新たに指定した団体)

国土交通省

○法人等の名称: 須走まちづくり推進協議会

【活動位置図】



【業務の内容】

- ・道路清掃・草刈・桜並木管理
- ・防護柵塗装
- ・デジタルサイネージ設置
- ・ベンチ・サイクルラック設置
- ・自動販売機設置
- ・オープンカフェ開催
- ・道路景観向上に関する普及啓発活動

※具体的な内容については、今後、道路管理者との協議の上決定します。

【これまでの活動状況】



(4) 東海道2峠6宿風景街道に関する取組(自主事業・委託) ※継続

- ー協議会の事務局として2峠6宿のまち歩きに関する情報等の提供を行うとともに、歩きやすい環境を整えるための美化活動や環境整備を行った。
- ー宇津ノ谷峠において静岡市、道の駅管理者、明治安田生命、大学等と協働で健康増進ウォーキングイベントを企画実施し、「駿府九十六ヶ町町名碑めぐりと弥次喜多」ウォーキングに協力した。
- ー東海道2峠6宿冊子の販売で資金開発を進めた。マップは5か所増刷し、それに伴いHPを更新した。

(5) 東海道「駿河二峠六宿」歩き旅・自転車旅フォーラム(自主事業) ※新規

- ー宿駅制420周年と太平洋岸自転車道ナショナルサイクルルート指定、日本遺産認定などを記念して、“街道歩き旅”を中心に展開してきた東海道「駿河二峠六宿」街道観光に、“街道自転車旅”を合わせ、今後の東海道「駿河二峠六宿」の在り方、進め方について新たな展望を整理する。
- ー当NPOは、主催者構成団体の静岡二峠六宿街道観光協議会の事務局として運営を支援した。

○実施日 11月2日(火)・3日(水・祝)

○内容 11/2 11:00 旧街道自転車旅研究会発足会(日本平ホテル)

13:30 東海道「駿河二峠六宿」歩き旅・自転車旅フォーラム(清水区マリナート)

11/3 8:00 東海道「駿河二峠六宿」街道自転車旅走行会

岡部宿～蒲原宿までの東海道・太平洋岸自転車道 約60km

【フォーラム・基調報告】

①「東海道歩き旅・自転車旅の魅力」

株式会社ライダス 代表取締役 井上寿氏

②「東海道二峠六宿の魅力」

NPO)地域づくりサポートネット 副代表理事 高木敦子氏

【フォーラム・歩き旅自転車旅車座談義】

①街道旅(歩き旅・自転車旅)の本当の魅力はどこにあるのか？

②魅力の源泉となる街道風景、町並みを「守る、活かす」には？

③街道歩き旅と街道自転車旅の共存の仕方、双方の思いやり、ルールについて

※フォーラムは YOU TUBE でも配信

<https://www.youtube.com/watch?v=IrfAnIiunR8>



【東海道「駿河二峠六宿」街道自転車旅走行会】

11月3日 東海道駿河2峠6宿「街道自転車旅」実走ルート(岡部宿~蒲原宿)

08:00	集合「スタート」(岡部宿) 飯屋「岡部宿公園」(由良川・ゴルフリンク)
08:30	岡部宿、朝比野、宇津ノ谷の集落
09:00	道の駅「宇津ノ谷峠」休憩
09:30	「丸子宿」下子宿、外郎宿
10:00	駐馬公園(ランニング・ストレッチング)トイレ、お水でも、休憩(お茶・お菓子)
11:15	駐馬公園、丸字、飯倉峠、外郎宿
11:30	駐馬公園、丸字、飯倉峠、外郎宿(トイレ、お茶、お菓子)
12:00	次郎宿、丸字、飯倉峠、外郎宿
12:30	清水マリンセンター「清水宿」(外郎宿のみ)
13:00	清水マリンセンター「清水宿」(外郎宿のみ)
13:30	清水マリンセンター「清水宿」(外郎宿のみ)
14:00	清水マリンセンター「清水宿」(外郎宿のみ)
14:30	清水マリンセンター「清水宿」(外郎宿のみ)
15:00	ゴール「JR新蒲原駅」解散式

実走会



(6)ぐるり富士山風景街道に関する取組(自主事業)※継続

① ぐるり富士山風景街道WEBサイトの再構築

- ー既存のぐるり富士山風景街道WEBサイトが自ら更新できないことから、随時更新できるようにするため、「ぐるり富士山風景街道」のWEBを再構築した。
- ーなお、ドメイン、サーバーレンタルなどの維持費が不要なjimdo無料版を利用した。

② ぐるり富士山風景街道一周清掃2020の企画・調整・実施

- ーぐるり富士山一周清掃月間： 10月～約1ヶ月間
- ー両県合同一斉清掃 10月9日（土）9：00～12：00開催
 - ・場 所 国道139号の静岡県朝霧高原・山梨県県境を跨ぐ区域ほか
 - ・参加者 約70名（国・県・市、地域住民団体、世界遺産センター他）



③ ぐるり富士山サイクルネット研究会による取組み

- ー富士山一周サイクリングについて、当NPOのWEBでPRした。
- ー両県の行政・民間と協働して、ナショナルサイクルルート指定に向けた機運醸成とサイクルツーリズムの推進組織やソフト事業などを研究した。
- ーその他、静岡・山梨両県の情報共有の調整を行った。

(7)朝霧地区景観形成ワークショップ会議(自主事業)※継続

- ー朝霧地区で景観形成ためのワークショップ会議の開催（2回）をコーディネートした。

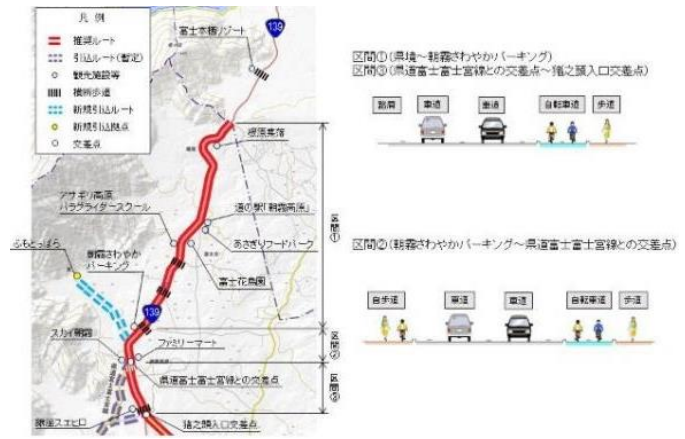
(8)静岡国道事務所管内景観形成等整理業務(プロポ・役務) ※継続

静岡国道事務所管内の「ぐるり富士山風景街道」や「東海道駿河2峠6宿風景街道」の取組みを支援するために、朝霧高原と宇津ノ谷の道の駅や道路協力団体等と連携して、景観を向上させる地域の活動を活性化させるためのワークショップを開催するとともに、富士山一周サイクリング（通称：フジイチ）の自転車走行空間整備に向けた検討・調整を行った。

① 道の駅「朝霧高原」を活用して「道路協力団体」の活性化策の検討

○ワークショップの企画・実施（1回：1月17日）

➡道路協力団体と連携したフジイチルートの自転車専用通行帯整備・維持管理を提案



②東海道 2 峠 6 宿の道の駅「宇津ノ谷峠」を活用した道路協力団体の支援策

○ワークショップの企画・実施（1回：2月17日）

➡道路協力団体と連携して道の駅の活性化策、宇津ノ谷全体の取組を提案



③北海道への先進地視察（道路協力団体、道の駅、風景街道、ナショナルサイクルルート）

○11/7～11/9 北海道のシーニックバイウェイ 釧路湿原・阿寒・摩周ルート、十勝ルート視察

ー朝霧高原と丸子・宇津ノ谷地区の道路協力団体、風景街道の関係者で先進地視察

➡朝霧高原、丸子・宇津ノ谷に参考となる取組を学び、今後道路協力団体の活動に活かしていく



④富士山一周サイクリングルートと太平洋岸自転車道の連携方策の具体化

ー富士山一周サイクリングルートの推奨ルートと、太平洋岸自転車道の接続の目的とした、接続ルート、推奨ルート及び交通結節点等の拠点をつなぐ引込みルートの走行空間整備のアクションプラン策定に向けた行政による意見交換会を開催した。



○第1回意見交換会 12月2日 県富士総合庁舎

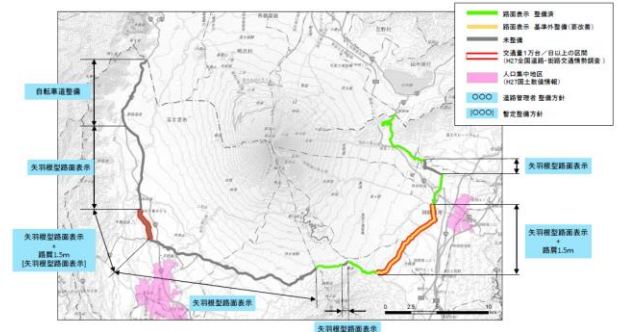
○第2回意見交換会 2月25日 WEB会議

➡富士山一周サイクリングルート、太平洋岸自転車道接続ルート、観光拠点等への引込みルートを公表した。フジイチをナショナルサイクルルート(NCR)指定に向けて推進していくことも位置づけた。山梨県側とも調整、情報共有して、ぐるり富士山全体の取組としていくための支援を行った。



推奨ルートの路面表示の整備方針

○10,000台/日以下の区間においては、矢羽根を整備(整備率33%)し、10,000台/日以上区間においては、矢羽根+外側線外側1.5m以上を確保(整備率0%)するものとするが、用地買収等が必要な箇所は矢羽根整備のみの暫定整備を進める。



※交通量は「令和3年度全国道路・街路交通情勢調査」の調査結果との整合を確認するものとする。

(9)富士山朝霧高原景観管理の取組支援(委託・一部自主事業)※継続

ー富士山の景観を維持するための組織(道路協力団体)の除草・清掃活動とその資金を確保するための取組を支援した。

ー景観管理活動(除草・清掃)4地区 1~2回程度(1回目 7月、2回目 9~10月)

ー活動の財源確保(道路空間へ設置した自動販売機の収益、店頭募金箱設置による募金など)

ー当NPOは富士山朝霧高原景観管理協議会の事務局として、その企画・調整運営、実施報告など中核的な業務を担った。



(10)大井川流域・牧之原大茶園景観協議会 官民連携修景モデル事業(島田市阪本地区)(委託) ※継続

静岡県が策定した大井川流域の「広域景観行動計画」に基づいて、島田市阪本地区において住民・関係自治体と一緒に茶園景観を向上させるための活動(ガードレールの修景塗装)の実施運営準備、運営、とりまとめを支援した。

○修景モデル事業

日時 令和3年7月11日(日) 10~12時(現地事前打合せ会:7月6日(火))

場所 島田市阪本地区(県道島田吉田線沿いの市道)茶園周辺

参加者 地区住民、県(景観まちづくり課、農地保全課、島田土木)、市(島田市、焼津市)

内容 ガードレールの塗替え 白色→グレーベージュ(両面)

・市道谷ロバイパス側道1号線(延長=約260m)

・市道谷ロバイパス側道2号線(延長=約280m)

※実施日だけでガードレールの塗り替えることができなかつたため、2月にもう1回実施することになったが、新型コロナの感染拡大により次年度に延期となった。



景観に配慮した ガードレール塗替(お知らせ)

実施内容

- ・大井川流域・牧之原大茶園景観協議会(関係9市町・県)では、この地域の美しい景観を守り、育て、次世代に引き継ぐため、地域の皆様とともに茶園景観の形成に取り組んでいます。
- ・谷口地区は、眼下に大井川が流れ、富士山を望み、農家の皆さんが手塩にかけて育てた茶園の秋が広がる全国でも類を見ない素晴らしい景観を有しています。
- ・今回、その美しい茶園の緑がさらに引き立つよう、付近にあるガードレールの色を白色から落ち着いた色(グレーベージュ等)に塗替えます。
- ・地域の皆様と一緒に取り組み、本地区の更なる魅力の発信につなげていきます。

参加人数 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、自治会長と調整します。
詳細については、後日ご連絡します。

日時 令和3年7月11日(日) 10:00-12:00実施*雨天順延(予備日:18日(日))

補足

- ・安全面に最大配慮し車道の妨げにならないよう実施します。また、新型コロナウイルス感染防止対策や熱中症対策を行います。
- ・平成30年度に当協議会が策定した「景観形成行動計画(概要版)」を参考に添付します。

塗替箇所

作業イメージ

主催 谷口自治会、大井川流域・牧之原大茶園景観協議会(島田市ほか景観協議会参加8市町・県)

問合せ先 静岡県交通基盤部都市局景観まちづくり課(大井川流域・牧之原大茶園景観協議会 事務局)
電話 054-221-3702 e-mail keikan-machi@pref.shizuoka.lg.jp

(11)浜名湖広域景観推進会議 官民連携修景事業(湖西市横山地区)(委託) ※新規

静岡県が策定した「浜名湖景観形成行動計画」に基づいて、湖西市横山地区の国道301号沿いの景観を向上させるため、防護柵・ガードレールの修景塗装を行う官民連携事業の運営・とりまとめを支援した。

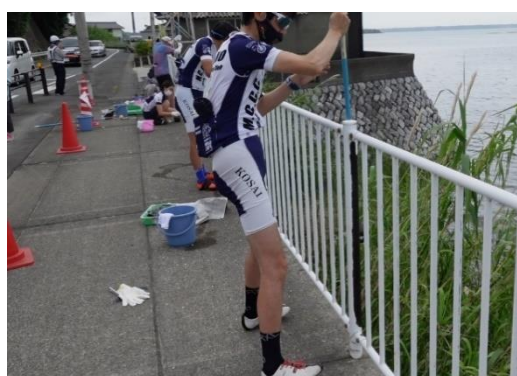
なお、浜名湖サイクリングロードは(国の日本風景街道ルートでもあるため、地域住民と景観行政だけでなく、浜名湖サイクルツーリズム推進会議の官や民間、サイクリストなども参加して実施した。

○修景モデル事業 1回

- ・日 時 令和4年6月5日(日) 9:00~12:00
(4/20 地元との協議、6/2 現地の確認・事前段取り)
- ・内 容 防護柵やガードレールの景観色に塗装



- ・参加者 69名・7班に分かれて実施(湖西市横山地区住民、浜名湖サイクルーツリズム推進会議・企業関係者、サイクリスト、行政関係者、スタッフ、学生スタッフ)



(12)NPO日本風景街道コミュニティの事務局支援(自主事業) ※継続

ーNPO 法人日本風景街道コミュニティが開催するフォーラムに参加し、全国の風景街道ルートの団体と交流を図り、風景街道に関する情報収集すると同時に、静岡県内で当 NPO が関わる風景街道の情報を発信した。

○日本風景街道 総会 令和3年8月11日(水) ZOOM 会議により開催

○風景街道コミュニティ事務局(道のコミュニティシンクタンク)

ー全国の自治体連絡会などの事務局などを担った。

○日本風景街道大学菜の花田原キャンパス

令和4年2月10日・11日に開催予定であったが、新型コロナの感染拡大により令和6年2月に延期



—静岡・愛知・三重の太平洋岸自転車道沿線の日本風景街道ルート（7ルート）による「太平洋岸自転車道NCR中部・日本風景街道連絡会」発足会も同時開催した。

- 日 時 9月17日（金）14：00～17：00
- 場 所 浜松市市民協働センター2階
- 参加者 計 95名（スタッフを含む）

②太平洋岸自転車道NCR×浜名湖サイクリング走行会（浜松駅前発）

- 日 時 1月22日（土）8：30～16：30
- コース 浜松駅～浜松城～佐鳴湖～浜名湖ガーデンパーク・村櫛～弁天島～今切口～防潮堤～太平洋岸自転車道～中田島～浜松駅（約50km）
- 参加者 14名（ガイド、サポートカー、スタッフを含む）



③市民への自転車文化の普及啓発を目的にTVアニメ「ゆるキャン△」のモデル地を巡るポタリング（20～20km程度の散歩のようなサイクリング）のツアー

●表浜名湖コース（約33km）

- 日 時 10月24日（日）8：30～14：30
- 内 容 サイクリング：弁天島～新居～村櫛～舞阪・今切口
遊船による遊覧体験：表浜名湖、いかり瀬上陸・ドローン撮影
- 参加者 12名（ガイド、スタッフを含む）

●奥浜名湖コース（約30km）

- 日 時 11月7日（日）8：30～15：00
- コース サイクリング：舘山寺～気賀（まちなかを巡る）～都筑（昼食）～瀬戸港
遊覧：瀬戸港～舘山寺港
- 参加者 13名（ガイド、サポートカー、スタッフを含む）

※ゆるキャン△ロケ地の須山建設「海の家」を借りて、昼食・見学・瀬戸港の遊覧船時間調整

TVアニメのモデル地巡礼 サイクリング探訪（表浜名湖編）



TVアニメのモデル地巡礼 サイクリング探訪（奥浜名湖編）



(3) サイクリング試乗体験会(受託)※継続

ーエコパにおいて、ラグビーの静岡ブルーレヴズのプレシーズンマッチイベントとして、静岡県西部地域局がサイクリングの普及・PRのため、会場でサイクリングの普及啓発、E-bikeやタンデム自転車等の体験試乗会、ちびっこサイクルチャレンジ(体験会)などを行った。



○実施日 12月25日(土) 10:00~16:00

※当初は9月に2日間の予定であったが、コロナの感染拡大で延期開催

○場 所 エコパスタジアム入口付近とエコパ外周

○内 容 E-BIKE や2人乗りタンデム自転車試乗
子どもサイクリング体験



(4) 三遠南信サイクリング モニター実走会(モニター) ※新規

ー静岡県西部地域局が実施した、太平洋岸自転車道を使用して、サイクリングを活用した新しい観光商品の検討を目的とする県境を越えるコース(静岡県御前崎市~愛知県田原市)にて1泊2日の自転車旅モニターツアーに参加した。

○実施日 11月17日(水)~18日(木) 1泊2日

○場 所 御前崎~太平洋岸自転車道~磐田(磐田グランドホテル泊)~一宮駅(天浜線サイクルトレイン)~新所原~芦原駅~(豊橋鉄道サイクルトレイン)~三河田原駅~伊良湖岬ゴール(1泊2日のサイクリングツアー実走)

(5) 中部ブロック「道の駅」連絡会事務局（委託） ※継続

ー中部ブロック「道の駅」連絡会事務局の静岡県担当として関わった。

○総会（書面決議）、役員会（書面決議 1回）、駅長会議（中止）

○道の駅活性化会議 静岡県分科会

- ・日時 1月18日（火）13：30～16：00
- ・場所 「道の駅」くるら戸田 2階会議室

※毎年道の駅の登録順に開催



ーその他、静岡県サイクルスポーツの聖地創造会議に道の駅連絡会事務局として参加した。

(6) 観光庁域内連携「キャン×スポ@あさぎり事業」の企画・実施管理（委託） ※新規

ー朝霧高原のキャンプ場を核として、地域の酪農、養鱒、農業者等と連携して協議会を組織し、官公庁の「地域の観光の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業（二次募集）」に応募・実施した。キャンプ客をe-BIKEなどで地域の酪農、養鱒、農業、林業の生産現場等を巡り・体験する事業や、富士山麓で人気の「ふもとっばらキャンプ場」で地域の生産者によるマルシェやキャンプ飯セットの予約販売などを商品化するための実証事業を企画提案・実施した。



○申請主体：一社しずおかスポーツプロモーション富士山支部

- ① E-BIKE で地域の生産者や魅力スポットをめぐるガイドサイクリング
- ② 地域生産者の商品を販売する「マルシェ in ふもとっばら」の試行（体験教室を含む）
- ③ 地域生産者の農林畜産物のキャンプ食材セット販売の試行



※令和4年度も事業のフォローアップとして、観光庁の稼げる看板商品創出事業にエントリーして5月末に採択された。企画・申請を支援した。

※なお、観光庁域内連携促進事業に浜松市：表浜名湖の「漁業×環境」が連携したSDGS達成に貢献するサステナブル・ツーリズム造成実証事業（申請主体：舞阪町観光協会）の応募に対し、企画・申請資料作成に協力したが不採択
令和4年度観光庁の地域資源を活用し稼げる看板商品創出事業にエントリーし、採択され令和4年度の取組として協力していく。

5. 安心・安全なまちづくり支援事業

(1) ふくしま避難者交流・生活再建支援事業(補助) ※継続

① 避難者見守り・相談・情報発信

- 訪問・面談
- 避難者アンケートの実施（WEB・紙媒体の併用）

② 避難者情報発信

- 避難者情報誌「虹のおたより」発行（2回発行）
- 故郷を振り返り、避難先静岡に感謝！「私の思い出の地」情報発信
福島と静岡の「私の思い出の地紹介」冊子の制作・発行

① 避難者同士・避難先住民との交流

1) 避難者同士・避難者と避難先住民の交流

- 「農園体験交流」 月2回実施（袋井市萱間 農業体験ファーム「みどり塾」）
- 「農園お茶っこ交流会」 4回→2回
- 「福島×静岡・絆フォーラム＝車座トーク」の開催（コロナの感染拡大により中止）

② 避難者同士の交流会

- 相談交流会 in 富士 1回（富士市在住の避難者の学習塾を会場）
- 避難者交流体験バスツアーin三島 1回（11月）→コロナで延期
→3月27日 避難者交流体験ツアーin浜名湖に変更（現地集合・マイカー移動方式）
（いちご狩り体験、今切口防潮堤見学、弁天島ランチ交流）

福島県県外避難者支援事業



袋井市の農業体験塾での交流



富士市・富士宮方面の避難者交流会



浜名湖交流会



浜名湖交流会



浜名湖交流会





ふくしま×しずおか 思い出の冊子 (抜粋)

(2) 浜松市UD協働事業「自転車によるユニバーサルデザイン」(委託) ※新規

ユニバーサルデザインのまち浜松として、自転車に乗らない女性、高齢者などに自転車の楽しさを実体験してもらい、外出を促進し、ユニバーサルツーリズムとしても自転車が活用できるような研修を開催した。

- 実施日 10月17日(日) 13:30~17:00
- 場 所 浜松市市民協働センター、浜松市のまちなか周辺
- 内 容 自転車とUDに関する講座
視覚障がいやハンデを持つ人(ベビーカー、車いすなど)と自転車の接触模擬体験
浜松まちなかUD自転車体験(サイクリング)
- 参加者 19名(一般市民、企業、サイクリスト、講師、スタッフ、浜松市)

浜松市UD 自転車によるまちなかUD啓発体験会



令和3年度 浜松市UD・男女共同参画推進事業

体験モニター募集!

自転車によるまちなかUD啓発体験会

「様々な身体障害者と自転車の共存できるUD都市を目指す」を目的として

自転車の使い分けの仕方と障がい者への配慮や、車いすなど自転車を通してのユニバーサルデザインについて学ぶ。考えでもう実地体験ワークショップを開催します。ぜひお気軽にご参加ください。

- 日 時: 10月17日(日) 13:30~16:30(受付13時) ※雨天中止
※実施日が、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発令の場合中止
- 集 合: 浜松市市民協働センター 2階 ギャラリー
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。自転車でお越しいただいても構いません
- 参加者: 自分で自転車が乗れる方などなくても構いません
障がいをお持ちの方でも参加可能です
- 定 員: 10名(定員になり次第受付を終了します)
- プログラム
 - 1) 自転車運転の基礎講座(自転車の現状、自転車のルール・マナーとは?)
 - 2) 現地走行体験会(自転車を使った模擬体験ワークショップ&デモンストレーション走行)
 - ① 自転車と障がい者やベビーカー、犬の散歩など人との共存「模擬体験」ワークショップ
 - ② 自転車の安全運転方法、後付補助輪の実演
 - ③ まちなかデモンストレーション走行(1時間程度)
 - 3) 現地走行体験会のまとめ(振り返り)
- 連絡事項
 - ① マスク着用(必須)、動きやすい服装(スカートやハイヒールなどは不可)
 - ② 自転車とヘルメットは主催者が用意しますが、自分の自転車を持参しても構いません
 - ③ 受付時に体温と手指の消毒(37.5度以上の方は参加できません)
 実施中は、ソーシャルディスタンスを確保しながら実施します。
- 主 催: NPO 法人地域づくりサポートネット
(この体験会は、浜松市のUD・男女共同参画推進事業に採択されて実施します)

[お問い合わせ先] NPO法人地域づくりサポートネット(山内・杉山)
電話 053-455-3180 FAX 053-455-0328
e-mail info@shizuoka-t.net 主催: 地域づくりサポートネット

参加者承認書(裏面)

6.その他目的を達成に必要な事業

(1)静岡地域学会の活動協力（自主事業）※継続

－静岡地域学会の研究発表会 ※新型コロナウイルスの影響で中止

(2)復興支援・避難者支援

－福島県の補助事業「ふくしま避難者交流・生活再建支援事業」では実施・計上できない東日本大震災の復興支援・避難者支援などの活動を自主事業として継続している。

(2)各種委員会等への参加

○静岡県サイクルスポーツの聖地創造会議（県スポーツ政策課：部会長、委員）

○浜名湖サイクルツーリズム推進会議（座長、委員）

○静岡県交通基盤部インフラビジョン推進会議（県建設技術課：委員）

○地域・企業連携農村再生デザイン事業審査委員会（県農地保全課：委員）

○三遠南信住民ネットワーク協議会（遠州・世話人）

○須走巡拝の道づくり委員会（委員、事務局）

○二峠六宿道旅推進実行委員会（静岡市：委員）

○掛川市自転車活用推進計画（掛川市：アドバイザー）

○富士宮市自転車活用推進計画策定有識者会議（富士宮市：委員）

○旧街道自転車旅研究会（会員）※

○太平洋岸自転車道NCR・中部日本風景街道ルート連絡会（世話人）※ 他